

報道関係各位

2010年3月4日  
ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

## ウォッチガード、新しい高パフォーマンスのセキュリティ・アプライアンスを発表

### 中小企業向けの WatchGuard XTM 2 Series と 中堅エンタープライズ向けの WatchGuard XTM 5 Series を発表

#### 次世代型 UTM である XTM で企業のネットワーク、アプリケーション、データのセキュリティを強化

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：本富顕弘、以下ウォッチガード）は、本日、新しいセキュリティ・アプライアンスである WatchGuard XTM 5 Series および XTM 2 Series を発表し、出荷を開始しました。

XTM 5 Series は最大 1,500 ユーザの中堅エンタープライズ企業向けです。XTM 2 Series は、最大 50 ユーザの中小企業および拠点向けです。両製品とも、次世代型 UTM（統合脅威管理）ソリューションである WatchGuard XTM（eXtensible Threat Management = 拡張可能な脅威管理）OS を搭載し、容易な操作性で、企業のネットワーク、アプリケーション、データを強力に保護します。

#### XTM 2 Series および XTM 5 Series の特長

##### 高速スループット

実績のあるインテルベースのアーキテクチャーを活用し、XTM 5 Series では、高速な 2.3Gbps のファイアウォール・スループットを実現。また全てのセキュリティ・サービス（ゲートウェイ・アンチウイルス、IPS/IDS、URL フィルタリング、迷惑メール対策）を利用している場合でも、800 Mbps のスループットを実現可能です。これは、同価格帯の他社セキュリティ機器では、実現できない高パフォーマンスです。

##### 小型サイズでも強力なセキュリティ機能

小型なサイズでありながら、優れたセキュリティ機能を実現する XTM 2 Series は、最新のセキュリティ機能と統合脅威保護を実現したい中小企業や拠点での最適なソリューションとなります。XTM 2 Series のワイヤレスモデルには、二重帯域 802.11n などのオプションがあり、より高度な反応性を持つ無線ネットワーク接続と範囲拡張を実現。2.4 GHz や混雑度の低い 5 GHz 帯域へのアクセスが可能。3 つのダイレクトワイヤレスセキュリティゾーン（VAP）により、管理者は異なるユーザグループが持つインターネットアクセス権限を個別に制御することが可能です。

##### 高いセキュリティ機能

XTM 2/5 Series は、高速スループットに加え、深いレベルでのセキュリティ保護を実現。ディープ・パケット・インスペクション、ステートフル・パケット・インスペクションとプロキシ技術を組み合わせることによって、完全なアプリケーション層までのインスペクションを実現し、他社ファイアウォールでは対応できない脅威も遮断することができます。

##### Fireware XTM によるセキュリティ機能

WatchGuard の新しい OS である Fireware XTM によって、高いセキュリティ機能を実現。XTM 2 / 5 Series は、企業ネットワークの安全な運用を実現します。セキュリティリスクが高い IM、Skype、P2P アプリケーションなどをブロックできるほかに、不正ウェブサイト、HTTPS パケットに隠された攻撃などに対応できます。また、次世代の脅威である VoIP、統合通信攻撃などにも対応可能です。

## 先進的なネットワーク機能

XTM 2 Series/XTM 5 Series は、先進的なネットワーク機能を提供。複雑なネットワーク環境に最適なソリューションとなります。XTM 5 Series は、クラスタリングが可能であり、アクティブ・アクティブなハイアベイラビリティ機能とロードバランス機能によって、最大のアップタイムを実現できます。さらに、WAN および VPN フェイルオーバー機能によって、高いパフォーマンス、冗長性、信頼性を可能にします。XTM 2 Series/XTM 5 Series はギガビット対応のポートを搭載しているほか、XTM 5 Series は、7 ポートを全て「Internal」「External」または「Optional」と設定可能なので、ビジネスのニーズに柔軟に対応することができます。

## 優れた管理とレポート機能

先進的な管理およびレポート機能が無償でバンドルされています。また Web ベースの UI、CLI 管理インタフェースなどを活用し、管理者が使いやすい環境を提供。既存のインフラストラクチャーとの最大な相互運用と統合が可能になります。またロールベース・アクセス管理、複数のアプライアンス管理機能などによって、より詳細な管理を行うことができます。

## SSL VPN 機能を統合

XTM 2 Series/XTM 5 Series には、WatchGuard の「ドラッグ・アンド・ドロップ」の SSL VPN テクノロジーが含まれているため、容易に安全なリモートアクセス環境を構築することが可能です。XTM 5 Series では、リモート環境からのセキュアなネットワークアクセスを最大 750 Mbps の VPN スループットで実現できます。

WatchGuard XTM 2 Series は、3 つのモデル (XTM 21、XTM 22、XTM 23) で提供され、下位モデルからのソフトウェアキーのみでのアップグレードも可能です。

WatchGuard XTM 5 Series は、4 つのモデル (XTM 505、XTM 510、XTM 520、XTM 530) で提供され、下位モデルからのソフトウェアキーのみでのアップグレードも可能です。

WatchGuard XTM 2/5 Series の詳しい仕様は、製品データシートをご参照ください。

WatchGuard XTM 2 Series データシート : <http://www.watchguard.co.jp/pdf/2series.pdf>

WatchGuard XTM 5 Series データシート : <http://www.watchguard.co.jp/pdf/5series.pdf>

## 今回の WatchGuard XTM 2 Series/5 Series 発表についてのコメント

◆ WatchGuard XTM 2/5 Series 発表について、ウォッチガード代表取締役社長である本富顕弘は「この度の XTM 2/5 Series のリリースにより、WatchGuard が提供する次世代 UTM アプライアンス XTM シリーズが、小企業から大企業・データセンター向けの全てのレンジでそろいました。UTM が目指すべき真のパフォーマンスとは、高いスループット、強固なセキュリティ機能、そして容易な管理機能ですが、WatchGuard XTM はこれらの要件を全て強化したソリューションです。更に、今日の日本市場ではユーザのコスト意識が大変高いですが、XTM シリーズは優れた費用対効果、すなわち『お手ごろな価格』を実現しています。ウォッチガードは、通常のアプライアンスの販売に加え、日本の中小企業向け MSS (セキュリティ監視・管理サービス) の提供、中堅・大企業の複数拠点でのネットワーク構築、地方自治体、文教分野での提案などを通じ、UTM アプライアンスを拡販しています。XTM 2/5 Series は、ウォッチガードの主力市場であり、かつ今日 UTM の需要が急拡大している中小・中堅企業のお客様への最適なソリューションで、多くのパートナー様と協業して販売してまいります」とコメントしています。

◆ WatchGuard XTM 2 Series 発表について、WatchGuard Technologies 社 Director of Product Management である Tim Helming は、

「中小企業が、ハッカー、マルウェア、ボットネットなどの攻撃対象になることが増えています。WatchGuard は XTM 2 Series を中小企業向けに開発し、エンタープライズクラスでのセキュリティ機能を提供しています。

悪意のあるウェブサイト、ハッカーからの攻撃、迷惑メール、ウイルスからの保護を提供するほか、VPN 接続機能を統合し、リモート環境からの安全なネットワークを可能にしています。今回の XTM 2 Series の発表により、Firebox X Edge e-Series からの製品ラインナップ更新を行い、ユーザと販売チャネルがわかりやすい製品群を提供することができます。さらに、XTM 2 Series は、WatchGuard のセキュリティに対するビジョンを実現し、新しい脅威が現れると共に対応する新しいセキュリティ機能を拡張することが可能となります」とコメントしています。

◆ WatchGuard XTM 5 Series 発表について、WatchGuard Technologies 社 Vice President of Marketing である Eric Aarrestad は、  
「次世代のネットワーク脅威と法令遵守のコンプライアンス対応ニーズによって、企業はリスク管理を見直す必要があります。IT のコストと複雑性を削減し、同時にセキュリティを向上するのはチャレンジですが、WatchGuard XTM 5 Series は、成長中のビジネスと中堅エンタープライズ企業にとって、強力なセキュリティ、柔軟性、拡張性、コストパフォーマンスでの最適なソリューションを実現できます。XTM 5 Series によって、WatchGuard は、中小企業向けの XTM 2 Series から大規模エンタープライズとデータセンター向けの XTM 8 Series と XTM 10 Series の WatchGuard XTM ラインナップを充実し、幅広いユーザに対応することが可能となります。XTM アプライアンスによって、ユーザは自社のニーズに対応するセキュリティ機能を選択することができます。XTM アプライアンスを組み合わせることによって、企業のネットワーク、アプリケーション、データセキュリティのニーズに合った最適なソリューションを実現できます」とコメントしています。

◆ 製品イメージデータ

WatchGuard XTM 2 Series : <http://www.watchguard.co.jp/images/xtm2.jpg>



WatchGuard XTM 5 Series : <http://www.watchguard.co.jp/images/xtm5.jpg>



WatchGuard XTM2/5 Series : <http://www.watchguard.co.jp/images/xtm2and5.jpg>



## WatchGuard Technologies 社について

WatchGuard Technologies 社は、1996 年から、ネットワーク・セキュリティ・アプライアンスにおけるテクノロジー・リーダーとして、信頼性が高く管理しやすいセキュリティ・ソリューションを全世界の企業に提供しています。WatchGuard Technologies の UTM ソリューションである WatchGuard Firebox X は、強力で信頼性の高いマルチレイヤーのセキュリティと、導入・運用、サポートのし易さ、最高の費用対効果を提供します。すべての WatchGuard 製品は、革新的なサポート、メンテナンス、教育プログラムである WatchGuard LiveSecurity によってバックアップされています。ウォッチガードは非公開企業で、本社は米国ワシントン州シアトル。その他、北米、ヨーロッパ、アジアパシフィック、ラテン・アメリカに支社があります。詳細はウェブサイト <http://www.watchguard.co.jp> をご覧下さい。

本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社 マーケティング担当 山之内真彦

TEL : 03-5456-7880、FAX : 03-5456-5511、電子メール : [info-jp@watchguard.com](mailto:info-jp@watchguard.com)

WatchGuard、XTM、Firebox は、米国ウォッチガード・テクノロジー社の米国およびそのほかの国における登録商標あるいは商標です。本プレスリリースで使われているそのほかすべての登録商標および商標は、各所有者に権利があります。